

平成21年度創立記念講演会

偏差値と受験勉強を語る

河合塾カリスマ講師 牧野 剛先生

平成二十二年五月二二日(金)の午後、恵那高校十六回生(昭和三十九年三月卒業)の牧野剛先生が「偏差値と受験勉強」という演題で講演をしてくださいました。

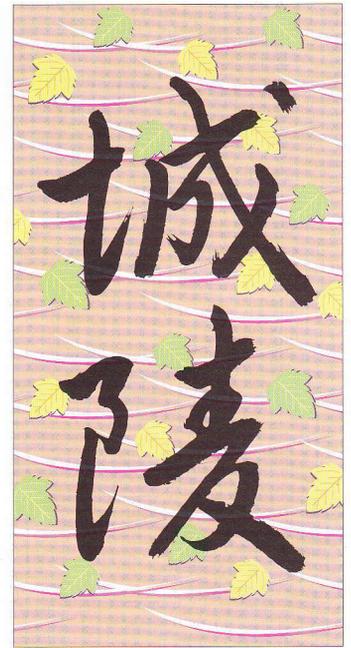
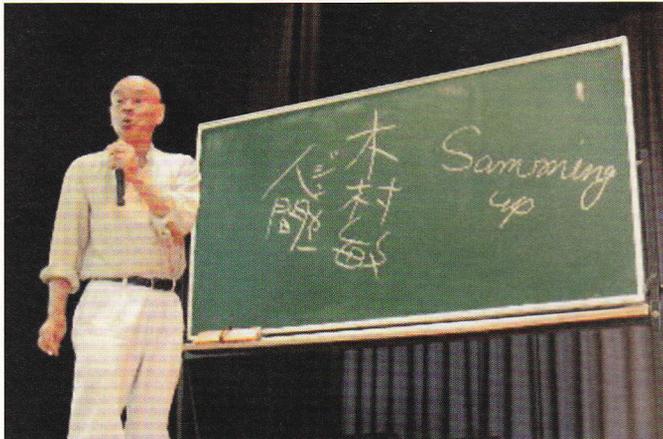
先生は名古屋大学文学部国史科を卒業され、養護学校や高等学校の非常勤講師を務めた後、現在河合塾国語科の講師をしてられます。

河合塾では現代文を担当しており、国語科主任、小論文科主任、カリキュラム・アドバイザー、諮問員などを勤めました。特に一九八四年の「共通一次試験」では国語現代文問題と同じ出典の文章を、事前に河合塾の全統模試で出題。いわゆる試験問題を的させたわけ、一躍大学受験の寵児となりました。その他にも、東京大学、京都大学などの入試問題も的の中させています。

先生は十七歳の時に、一日一冊は本を読むことを決心し、現在でも早朝から出勤まで読書する日々を過ごしておられ、こういう努力を日々続けていることが、受験問題の中につながっているとのこと。

著書も多数あり、代表的な物をあげれば、「三〇年後の大学解体」(ウェイツ)、「偏差値崩壊」(PHP)、「人生を変える大人の読書術」(メディアックス)、「ことばはちからダー」(河合出版)などがあります。

講演を聴いた生徒の感想は、「講演を聴いて、世界の中では、日本人の、他人に流されるような考え方は通用しないのだということを改めて実感しました。正確な答えより



— 第10号 —

発行/岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地/岐阜県恵那市大井町1023-1
〒509-7201
TEL・FAX : 0573-25-0253
E-mail : enako-ds@enat.org
発行責任者 市川 康夫

会報協力金のお知らせ

昨年発行された同窓会報「城陵」第八・九合併号では、八十五周年記念名簿をご購入くださった方々や、進んで名簿作りに協力してくださった方々などに広く会報をお届けしました。しかし、この第八・九合併号で、以前からの例に従って一人千円の協力金を募って配布したところ、発行費用が集まった協力金を上回る結果となってしまい、今後赤字が累積する懸念が生じております。つきまして、今回の「城陵」第十号から、協力金を二千円お願いし、来るべき創立九十周年に向けて少しでも多くの会員に会報をお届けし、かつ本会の財源を圧迫しない体制を築いてまいりたいと存じます。もちろん会報に関する費用もできるだけ切り詰めるように努力いたしますので、何とぞご理解を賜り、母校と本同窓会発展のため、多くの皆様と同封の振込用紙で協力金を寄せていただけることを切望しております。

後輩として誇りに思えます。講演に感心しきりの感想ばかりでした。

渡邊泰治校長転出、 成瀬正樹校長着任



成瀬正樹校長

平成二十年から二年間にわたって恵那高校の校長を務められた渡邊泰治先生が、この春の定期人事異動で岐阜県立岐山高等学校の校長として転出されました。渡邊先生は、専門の数学は言うに及ばず、高い英語能力や情報技術関連の幅広い教養を活かして、SSH事業をはじめとした恵那高校の活性化に大きな貢献をされました。

後任には、岐阜県立坂下高等学校の校長であられた成瀬正樹先生が赴任されました。成瀬先生は、恵那高校二十三回の同窓生で、高校時代は県下の強豪チームだったバレーボール部員と

して活躍されたそうです。教員としては、この十年ほど坂下中学や中津高校、恵那南高校、坂下高校に赴任され、市町村合併や学校統合にかかわる手続きや、新校舎の建設に、管理職として中心的な働きをしてこられました。間もなく同窓会として創立九十周年を迎え、新校舎の建築も本格化する母校にとって、頼もしいリーダーを迎えました。

第3代目の校舎はこうなる!

～ 母校の校舎改築計画の全容 ～



母校の校舎改築が県で進められています。昭和三七年の大火により消失した旧制恵那中学の伝統を受け継ぐ木造校舎に代わって、翌年に建てられた現在の第一、二棟は、耐用年数や、耐震構造の点から改築の時機を迎えていましたが、県の予算が認められ、平成二一年度に設計が完了し、平成二二年度から二四年度にかけて建て替え工事に入ることになりました。な

お、昭和四九年に建てられた第三棟はそのまま利用されます。

平成二〇年度に設計プロポーザル(提案)方式により応募された案から、審査委員会で設計業者が選定され、前回発行の同窓会報で紹介した概要の設計案が採用されました。平成二一年度には、県担当課と本校関係者と設計業者との間で設計の細部が検討され、このほど設計が完了しました。

前号で紹介したようにこの新校舎の設計案には、同窓会から要望した旧制中学時代の木造校舎を彷彿するデザインが一部に取り入れられています。

改築の概要(完成イメージ図を参考に)は、現在の第二棟を解体し、その場所に第一棟と第二棟を合体させた厚みのある三階建ての校舎が建築され、既存の第三棟と二階、三階でも直接行き来できる三層の渡り廊下で結ぶというものです。新校舎の一階には校長室・

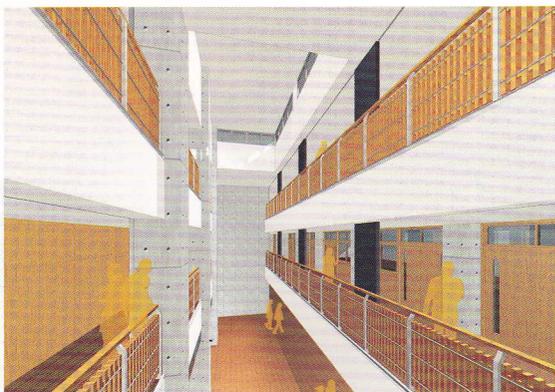
事務室・職員室・進路指導室・生徒指導室・保健室などの管理部門が主に配置されます。また二、三階には二学年分の教室・理科実験室準備室などが、三階までの吹き抜けをコの字形に囲むように配置されます。また、現在の第一棟は解体され、その場所は前庭として整備されます。

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
工事内容	第2棟解体	仮設校舎の建築と利用	第1棟解体
	本体工事		外構工事

工事行程表(予定)

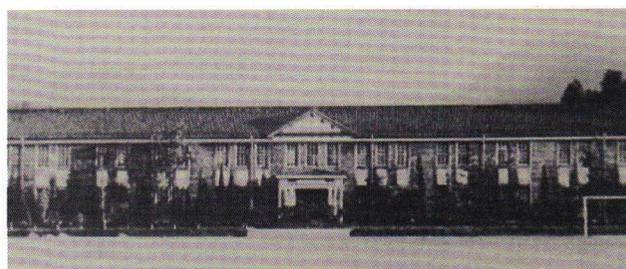
構工事が実施されます。また、最初に解体される第二棟にある理科実験室・進路指導室などは、運動場の南西側、部室棟の前に建てられる仮設校舎へ移設されます。工事期間中、現在の第一、三棟はそのままの状態です。新校舎が建築されるので、ホームルーム教室が仮設校舎へ移設されることはありません。

新校舎は恵那中学校創立から数えて第三代目となります。木造の初代校舎(下図)はその風格から映画「青い山脈」のロケ地(昭和三二年)となるなど、母校の象徴として愛されてきました。昭和三七年に焼失しました。翌年に建てられた二代目の校舎(現在の第一、二棟)は、当時の最



新校舎中央の吹き抜け

新設備を持つ鉄筋コンクリート三階建てとして建築され、現在、築四八年目を迎えています。多くの同窓生は、多くのご縁を築いてくださるご縁を、今年度の夏には、まず第二棟と別れを告げ、平成二四年度の夏に第一棟と別れを告げなければなりません。この校舎で青春時代を送った同窓生の皆さんには、各卒業回の同窓会などを計画される折に、ぜひ取り壊し前の懐かしい校舎を訪れていただきたいものです。また、新しく建設される第三代目の新校舎が、伝統ある恵那高校の新たなシンボルとして機能するよう応援してください。



初代校舎

昨年5月17日の同窓会総会でご承認をいただき、植草前会長からバトンタッチを受けました市川でございます。皆様方には日頃から同窓会活動にご理解ご協力を頂きまことに有難うございます。

この一年間、7月の東京城陵会総会を皮切りに今年の2月の恵那城陵会総会に至るまで、各地の同窓会に伺い、親しくお話をさせていただく機会を得ました。それぞれ大変盛会で、会の

城陵論壇

現行の高校教育には、教科の枠を超えた学習をする「総合的な学習の時間」(以下、総合学習と記述)が設けられ、平成十五年度から実施されている。多くの普通高校では三年間で三単位を設定し、各学校の実情に応じた取り組みをしている。一方、専門高校では各専門学科の課題研究を充てている学校が多い。

本校での総合学習は、自分の興味関心のある分野や進路に係る分野についての課題研究を、三年間を見通して

運営にも趣向をこらしておられ、楽しく充実したひと時を過ごさせていただきました。

各地の皆様方にお会いして強く感じたのは、卒業年次やこれまでに歩んでこられた道は様々であっても、青春の多感な数年間をこの城陵の地で過ごしたという共通項で結ばれた各地の会が、オアシスのような家庭的な雰囲気にも包まれているということとです。皆様方の生き生きとしたご様子にそれを強く感じました。またそれとともに、お聞きするお話の中に、後輩が学ぶ現

在の恵那高等学校に対する思いの深さも感じました。それはまさに私どもも本会同窓会の目指すところのもの、つまり、①会員の親睦・



市川 康夫

同窓会会長

会長としての1年を終えて

交流を深め、②母校や後輩に対する支援を続けていくことに重なり合うものでございます。もともと恵那高等学校同

窓会は、地区の同窓会活動や卒業回次別の同級会・クラス会の活動に支えられて発展してきました。今後、地区・卒業回次別の活動と

ご案内のように、恵那高等学校は、来たる平成24年に創立90周年を迎えます。また、同じ平成24年度までに、昭和38年の火災後に建

たり、来し方を振り返り、100周年を見据えつつ、記念事業の検討・準備に入ろうとしております。この創立90周年が、母校の更なる発展そして同窓会活動の充実につながるひとつの契機にできればと祈念しております。

まことに微力でございますが、一生懸命努力してまいります。なにとぞ皆様方のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

漸進的組織的に取り組んでいる。これは県内の普通高校では最も充実した取り組みとの定評をいただいている。その具体例をいくつか紹介すると、「裁判員制度」「なぜ古本屋はつぶれないのか」「看護師に求められるもの」「円周率の研究」「物質による熱交換率の違い」「ルビンの合成」「ビタミンCの保存と損失」など、研究分野は社会・人文・自然科学などの多方面にわたり、多彩である。特に、理数科ではスーパーサイエンスハイスクール事業の一環として展開され、本校同窓生の大学教授の方々から直接ご指導いただいた

を通して、学ぶ態度と学ぶ方法を身につかせようとしている。具体的には、疑問や興味を抱いたことについて、調査・観察・観測・考察・検証



渡邊 泰治

前恵那高等学校長

分かるとは言葉にできること

か「この困難さと格闘することになる。一般に、学習とは知識を得ることと考えられがちだが、その範囲の学習では単に

私はこのことを生徒に伝えるとき、「左右」を説明する困難さを例に挙げることにしている。すなわち、「左右」の定義を辞書に求めると、

「右とは、南を向いた時、西にあたる方」とあるので、次に南を調べると、「南とは、日の出る方に向かって右の方向」とある。これでは循環定義となり、結局意味不明の状態である。現代物理学の先端研究では今でもこれを求め続けている。

このような分かることへの弛まぬ探究心は、現代の知識基盤社会で益々必要とされている。本校の総合学習ではその種を捲いているのである。

今の恵那高生に探究を通して大いに論じ合い、「乾坤に嘯いて」くれることを期待しつつ。



二年生の修学旅行は、毎年、沖縄の梅雨が明ける六月末に実施されている。一日目は、ひめゆり資料館、

修学旅行

(六月)



母校のトピックス

平和記念資料館、糸数壕を回り、二日間は班別研修、三日目はクラス別研修、四日目は首里城を見学して帰ってくる。本校生は、総合的な学習の時間において、一年生の冬休み明けから沖縄について調べ始める。その後テーマごとに、班に分かれ調査を続け、調べたことに対し、修学旅行の二日目で実地に検証することとなっている。



SSH全校科学講演会

(一〇月)

今年度は、五年間のSSH事業の三年目に当たるが、このSSH事業の一環として、恵那市岩村町出身で、せんぽ東京高輪病院、栄養管理部長で管理栄養士の第一人者の足立香代子さんが講演をした。「脳と身

芸術鑑賞会

(一〇月)

体が動く栄養とは！」と題した講演では、「栄養で脳の働きが変わる仕組みや、運動に有効な栄養摂取方法、また受験生にとっては貴重な情報である、インフルエンザにかかりにくい食事の仕方などを分かり易く紹介した。

毎年、恵那市文化会館を借りて、芸術鑑賞会が行われているが、今年度は、中西圭三さん(ヴォーカル)、妹尾武さん(ピアノ)、桑山哲也さん(アコーディオン)の三名による究極のコーポレーションが行われた。中西圭三さんは、一九九二年にZOOに提供した「Choo Choo TRAIN」でシンガーソングライターとして脚光を浴び、同年「Woman」でレコード大賞作曲賞を受賞、紅白歌合戦にも出場している。一昨年にも恵那高校音楽部とジョイントを行っており、今回二度目の恵那高校訪問となる。妹尾武さんはゴスペラーズ、高橋真梨子、鈴木雅之などに作品を提供しており、松任谷由実、谷村新司らのレコーディングやコンサートにピアノリストとし

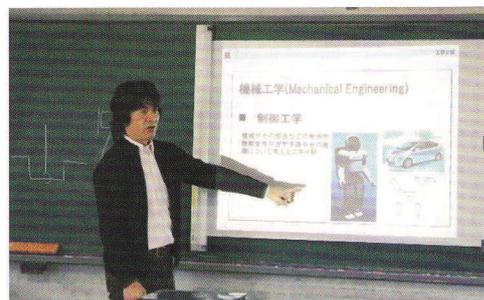


て参加している人物。桑山哲也さんは日本で唯一のポタン鍵盤式アコーディオン、ベルギー式配列のアコーディオン奏者である。妹尾武さんによるジャズアレンジされた華麗な恵那高校校歌が始まり、三人の軽妙なトークで生徒を笑わせながら、中西圭三さんのヒット曲で締めくくるといふ、とてもすばらしいコンサートであった。

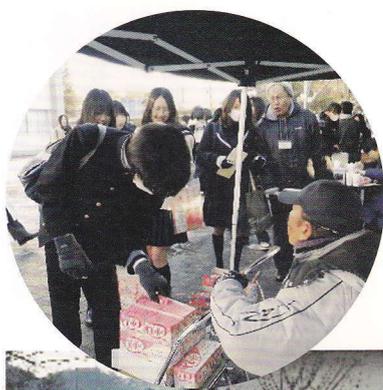
職業講話

(十一月)

一年生対象に職業講話が行われた。スポーツトレーナー、言語聴覚士、薬剤師、保育士、建築士など十二講座十四名の講師が恵那高校を訪問し、自分の職業について、どうしてその仕事を選んだか、どんな時にやり



がいを感ずるか、これから高校生としてやっていくべきことは、などについて語った。工学研究者として講話をした、同窓生で名古屋工業大学准教授の糸魚川文広氏は「工学研究者は工学についてのみ知ってればよいわけではなく、仕事をやる上で、歴史の知識や漢文の知識が必要になることもある。無駄な勉強なんて何もない。」と語った。



センター試験受験

(二月)

今年度は二二七名の恵那高生が中京学院大学にてセンター試験を受験した。寒い日が続いたため、生徒より一時間ほど早く到着した職員による雪(氷)かきから作業が始まった。八時十五分着のバスで到着した生徒たちは、同窓会から送られたキットカット(きつと勝つぞ)と職員から激励の言葉を受け取り、そして、同じく同窓会から寄付された「頑張れ恵那高生」の垂れ幕の下を通って各会場に向かった。



卒業生のおもな合格先 ー過去3年間ー

※現役合格者と過年度生合格者の合計数。()内は過年度生合格者の内訳数

国立大学

大学名	年度	平成21	平成20	平成19
北海道			1	
北海道教育			1 (1)	
東北	1			
山形			1 (1)	
福島			1	
茨城	1			
筑波			5	1
宇都宮			1	1
埼玉			1	
千葉	2		2	4
電気通信				1
東京外国語				1
東京学芸				3 (1)
東京海洋	1			
東京医科				1 (1)
一橋			1 (1)	
横浜国立	2		1 (1)	3
新潟	1			1
富山	5	5	2	
金沢	7	4	6	
福井	3	1	1	
山梨	1	6 (1)	2 (1)	
信州	9 (1)	16	15	
静岡	10 (1)	3 (1)	8	
浜松医	2	1		
愛知教育	1		2 (1)	
名古屋	14 (1)	14 (1)	4	
名古屋工業	4	5	3	
岐阜	14	18 (1)	15	
三重	1	2	5 (1)	
滋賀			1	
京都	1		1	
京都教育	2	1		
大阪	2	2 (1)	4 (1)	
奈良女子	1		1	
和歌山	1		2	
神戸		1	2	
鳥取	1			
島根	3		1	
広島		1	1 (1)	
高知	1			
愛媛	1			
佐賀				1 (1)
宮崎			1	
鹿児島	1			

公立大学

大学名	年度	平成21	平成20	平成19
釧路公立				1
秋田県立				1
国際教養				1
高崎経済				1
首都大学東京	2 (1)	1 (1)		
横浜市立			2 (1)	1
神奈川県立保健衛生	2 (1)			
埼玉県立	1			
新潟県立		1		
金沢市立美術工芸	1			
富山県立	2		1	
福井県立		1	2	
都留文科	2	1	4	
山梨県立		1		
岐阜県立看護	3	2	2	
岐阜薬科	2	1 (1)		
静岡県立	1	2	2	
静岡文化芸術	1			
愛知県立	5	3	5	
名古屋市立	2	4	3	
三重県立看護	3			
京都府立		1 (1)	1	
京都市立芸術	1			
大阪市立		1 (1)	1	
大阪府立	1 (1)	3		
和歌山県立医科	1			
神戸市外国語	1	1		
兵庫県立	1		1	
広島市立			1	
岡山県立		1		
高知工科	2			
山口県立			1	
下関市立		1	1	
長崎県立		1		
福岡女子	1			

私立大学

大学名	年度	平成21	平成20	平成19
早稲田		1	4 (1)	8
慶應義塾		1	1	2
上智				1
明治	7	6	9	
青山学院	2			3
立教				3
中央	1	2	5	
法政	6	4	4	
国際基督教				1
駒澤	7 (4)	1	2	
学習院				1
國學院		2		
成蹊	2	1	2	
専修	1		1	
東京理科	3 (1)	2 (1)	9	
東京都市		2		
東京農業	2 (1)	2	1	
東海	1	1	1	
東洋		1 (1)	3	
日本	5 (1)	2 (1)	3	
日本体育		1		
日本歯科		2		
日本女子		2	1	
日本獣医生命科学			1	
東京電機	1	1		
東京家政	1			
東京工科	2	1		
獨協		1		
津田塾			1	
国士舘	2			
国立音楽	1	1		
順天堂		1		
創価	5		5	
北里	2	2	1	
拓殖			1	
帝京		2		
神奈川	5 (3)	1	1	
神奈川工科		1		
芝浦工業	1		2	
武蔵			1	
流通経済	1			
武蔵野		2	1	
武蔵野美術	2			

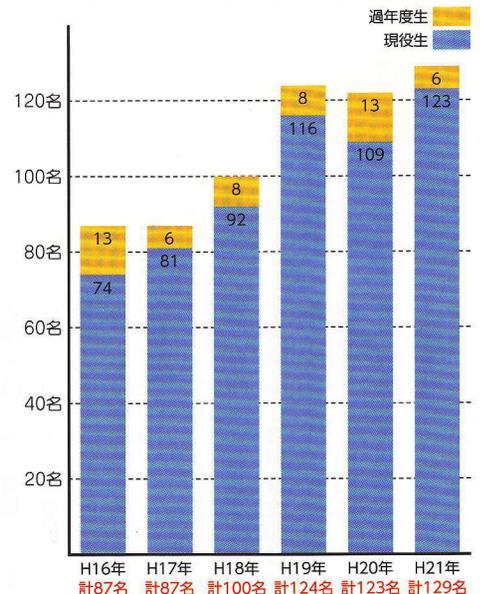
私立大学

大学名	年度	平成21	平成20	平成19
多摩美術	2			
国際武道	1			
聖心女子				1
愛知	6 (1)	20	9	
愛知医科	4	4	2 (1)	
愛知学院	5	6	4	
愛知東邦	1			
愛知工業	7	9	10	
愛知産業			1	
愛知淑徳	14		21	
愛知文教			1	
愛知みずほ			2	
南山	22 (3)	26 (1)	44	
中京	14	21	20	
中京女子			2	
中部	27	33	11	
中部学院	1		3	
名城	35 (2)	46	45	
名古屋外国語	7	4	6	
名古屋学院	2	3	4	
名古屋学芸	9	5	1	
名古屋芸術	1		1	
名古屋女子	6		6	
名古屋商科	4	3	2	
名古屋造形芸術		4		
名古屋音楽		1		
常葉学園	3		1	
東海学院			1	
東海学園		1	1	
椋山女学園	4	2	5	
皇學館		2		
星城	1	2	5	
桜花学園	1		1	
金城学院	9	14	12	
豊橋創造		1		
豊田工業		1		
大同工業	2	1	1	
岐阜医療科学	1	2	2	
岐阜聖徳学園	5	4	8	
岐阜経済			2	
四日市看護医療	1			
静岡文化芸術		2		
金沢工業	6		2	

私立大学

大学名	年度	平成21	平成20	平成19
日本福祉	1	4	9	
鈴鹿医療科学		4		
藤田保健衛生	8	13	4	
川崎医療福祉		1		
酪農学園			1	
同志社	2 (1)	4	9	
同志社女子	1	1		
立命館	16 (1)	13	30	
関西学院		2	5	
関西西	5	2	11	
関西外国語		1		
花園	1			
関西福祉科学		1	1	
京都外国語	1	1	2	
京都学園	1			
京都橘		4		
京都産業		1 (1)		
京都女子	2		1	
龍谷	1		9 (1)	
奈良			1	
近畿	3	2	4	
佛教			1	
大理			1	
神戸女学院	1			
神戸常盤	2			
大阪大谷	1		1	
大阪産業			1	
大阪学院			1	
岡山理科	1 (1)			
千葉工業			1	3
帝塚山学院			1	
聖隷クリストフ			1	
岩手医科大学			1 (1)	
兵庫		1		
西南学院	3			
東北公益文科	2			
大谷	1			
明星		1		
長浜バイオ	1			
藍野			1	
明治国際医療			2	
流通音楽			1	
昭和女子	1			

国公立大学合格者推移(過去6年間)



八十年の軌跡⑩

復活!『剛健遠足』

~中20(4卒)・21(5卒)回生有志が、53kmを20時間かけて踏破!~

つてみようと思うので、その気持ちのある人は是非」という氏の呼びかけに、18名の有志が賛同して始めることとなった。

平成20年11月25日を皮切りに、平成21年3月18日・4月13日・5月14日・6月5日・8月19日と、計6回に分けて、紙面掲載の地図を時計回りに、全行程を見事に踏破した。この間の道中記は紙面の都合上割愛せざるを得ないが、佐々木纏氏(岩村町在住)の誠に面白いレポートがある。興味のある方はお尋ねあれ。

参加者は、(以下敬称略)糸魚川淳二・下島光雄(中20)・安藤矩義・伊藤伸一・太田喜八郎・大山哲朗・楓 健治・勝野公明・加藤庄一・神谷芳昭・川上又美・佐々木纏・杉本昌也・畑中哲郎・原博・渡辺信男・応援として古山茂久・和田芳行(中21)の各氏である。

いずれの方々も八十路を迎え、なお意気軒昂の青年ばかり



である。あれから66年の歳月が経過した今、その光景の変貌ぶりに、いったい何を見、その胸中に何が去来したとか。地球温暖化の危機にある今、この『剛健遠足』が、私たちに訴えかけていることを、今こそじっくりと咀嚼する必要があるのではないか。

09-10 Student of the year 賞

6名の生徒が輝く!

今年度在校する生徒の中で、最も顕著な活躍が認められた生徒に贈られる表彰式が、平成22年2月28日16時から、恵那高校第一体育館で全校生徒・職員の前で行われた。

この表彰は、平成19年度から同窓会が行っているもので、贈呈式には市川康夫会長の出席を得て、会長から表彰状・時計付きクリスタル楯が渡された。表彰された生徒は、次の通り。



林 純(3年生) | 第64回国民体育大会ボート競技岐阜県予選少年男子の部で優勝した。続いて、少年舵手付きクオドルプル岐阜選抜のキャプテンとして東海国体でも優勝、トキめき新潟国体ボート競技に出場し8位入賞の原動力となった。

各務 南(2年生) | 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会県予選優勝・岐阜県柔道体重別選手権大会兼国民体育大会選手選考会優勝、岐阜県高校柔道大会個人体重別優勝・第32回全国高校柔道選手権大会出場などの数々の荣誉に輝いた。

吉村優里(2年生) | 第64回国民体育大会ボート競技岐阜県予選少年女子の部で県選抜選手に選ばれ、少年女子シングルスカルの選手として東海国体で2位になり、トキめき新潟国体ボート競技では準決勝まで勝ち進んだ。また、岐阜県高校新人大会では、女子シングルスカルで優勝し、中部高校選抜大会では、東海地区2位となった。

石原梢江と太田瑞葵(3年生) | SSH全国生徒研究発表大会ポスター賞を受賞し、その研究成果が讃えられた。

堀 晴菜(1年生) | JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権大会チーム部門にチームの一員として出場し、優勝に貢献した。

同窓生の中尾昭公氏、 日本外科学会会頭として活躍



恵那市三郷町出身で、昭和四一年に恵那高校を卒業された現名古屋大学教授の中尾昭公氏は、膝臓などの悪性腫瘍の外科治療で実績

をあげてこられました。このほど平成二二年度の日本外科学会会頭となられ、日本の外科医学の発展のためにご尽力されています。

四月八日から一〇日にかけては、名古屋国際会議場にて開催された日本の外科学界最大の行事である定期学術集会を主催され、盛況のうちにその任を果たされました。

また、その一ヶ月余り前の二月二七日(土)には、新恵那市制施行五周年と恵那峡開峡九〇周年を記念した特別講演を行われ、恵那文化センター大ホールに入りきらないほどの聴衆に、日本の外科学の現状と課題について、一般市民にもわかりやすいお話をされました。

同窓会総会のお知らせ ～ 柘植会長から市川会長にバトンタッチ～

平成二二年度の恵那高校同窓会総会は、五月十七日(日)午後三時より、本校会議室にて開催された。当日は、役員・学校関係者ら計三六名の参加を得て、熱心に議事が進められた。

主な議事内容は、平成二〇年度事業報告・決算報告と監査報告、平成二一年度事業計画と予算及び役員改選などについて協議がなされた。新役員として、市川康夫会長が、阿部伸一郎副会長がそれぞれ選ばれ、その場で信任を得た。

その後、「報告事項」として「同窓会報『城陵』の発行・送付について」「創立八五周年記念同窓会名簿について」「新校舎の建築について」などの報告がなされた。総会終了後は、恵那駅前「ますき」で、三〇余名の参加を得て、にぎやかに懇親会が行われた。平成二二年度の同窓会総



会は、五月一六日(日)午後三時より、本校会議室で実施され、午後五時半より旅館「いち川」にて懇親会の開宴が予定されている。多くの会員の皆さんに参加をいただけていることをお待ちしています。

各地区各同窓会あれこれ

恵那城陵会総会



平成22年2月11日16時から、恵那峡ランドホテルで、総会が開催された。

総会での議事は滞りなく承認された。今回で荻野恵三会長が勇退され、新しく小澤隆徳氏が会長に就任した。

その後、当番幹事30回生の運営のもと懇親会へと移っていった。会では『東濃ヴェンチャーズ』の演奏と30回生小林哲朗氏の制作した恵那高の校舎内外の映像をまとめたCDが映し出され華を添えた。

土岐市城陵会総会

平成21年6月14日17時から、土岐市「竜庵」で第17回総会が開催された。今年

①

度の会務報告・会計報告の後役員が改選され、会長は古屋久治氏から戸谷仁彦氏へバトンタッチされた。

その後引き続き、「思いつくままに」と題して、曹洞宗長国寺住職小島泰道師(22回生)の講話があり、参加者には大好評を博した。

恒例の懇親会は、例年とは会場を異にして「竜庵」で行い、50名を超える参加者と懇親を深め、和やかな雰囲気の中に閉会した。



東京城陵会総会

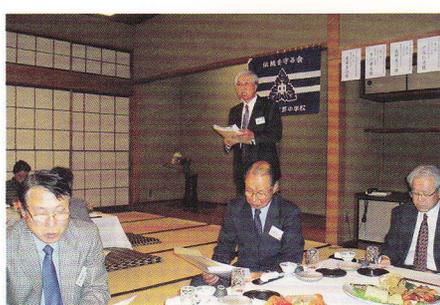
平成21年6月27日12時から、日比谷「松本楼」で総会が開催された。伊藤忠生会長のもとに、中11回生〜高20回生までの

同窓生が100名を超えて参集し、盛大に執り行われた。旧中の方々のご挨拶を聞くにつけ、元気をたくさんいただいた。

なお、東京城陵会は、銀座の「ライオン」で定例会を行って、会員相互の懇親を深める機会を設けている。

中津川恵那高会・恵蘇会総会
平成21年11月14日18時から、中津川駅前「勝宗」において総会が開催された。

勝野勅彦会長のご挨拶の後、会計報告などが行われた。引き続き懇親会が行われ、40名余の参加者が和やかに歓談をしながら、楽しい一時を過ごした。



各地区各同窓会あれこれ

②

名古屋恵那高会総会

平成21年11月27日18時から、「名鉄ニューグランドホテル」において第54回総会が開催された。

各務芳樹会長のご挨拶の後、会計報告・監査報告が行われそれぞれ承認された。

引き続き懇親会が開かれ、久翁正倫氏の乾杯で始まり、60名を超える参加者を迎えて会は盛会であった。

第14回明智恵中会

明智恵中会を例年通りに、平成21年11月26日、明



智町「大正ロマン亭」で開催した。

出席者は9名と少なくなったが、南部国鉄明智線通学生として、当日懐かしい顔ぶれが思い出された。懐かしい、校歌・応援歌を歌い来年の会を楽しみに解散した。(三宅壽夫)

恵中22回(恵高1回)卒同窓会

平成21年5月14日、三國山山麓「柿野温泉」で同窓会を開催した。出席者は42名。続いて10月20日には、鬼岩温泉で「元気に語る会」



を開催し、出席者は31名であった。

80歳を迎える来年までに城陵の学舎で過ごした思い出を、文にしたためてみようということになった。(加知弘至)

中23回生傘寿直前同級会

平成21年11月15日〜16日の二日間、恩師小木曾茂先生をお迎えして南木曾町「ホテル木曾路」において40名の同期が、関東・関西からも集まり盛大且つ心に残る温かい同級会を開催し、錦秋の木曾路を存分に味わった。

この会は、「傘寿直前『Unit』同級会」と銘打ったが、出席者は全員驚くほど元気で「2年後あたりに新たに第1回同級会をやる」という結論となった。(小林正喬)

文集『はなのき』創刊10周年を迎えて

中第23回生が会報として発行している冊子『はなのき』が10周年を迎えた。年4回発行しており、今回発行が40号となった。恵那在学当時の思い出、

第四十号



岐阜県立恵那中学校第23回卒業

苦勞した勤め人時代、子育てなど、毎回A5サイズで35〜40ページの冊子に仕上げ、50余名に送付している。旧友との絆を継続・維持する手段として役立っている。(小林正喬・浅野益秀)

高7回生第11回同期会

平成21年5月20日、恵那峡グランドホテルで、出席者74名を得て、同期会を盛大に行なった。

昭和30年3月恵那高校を巣立って55年の歳月が流れた。今回も遠方よりの参加者を始め多数の方々の参加があった。

先に先立って、幹事の固定化、会長・副会長を設置し、選任した。その後の懇親会は言うまでもなく盛り上がり散会した。(市川高明)

高8回生城陵会

平成21年6月21日、恵那



平成二十一年十二月 恵那峡グランドホテルで、3年ごとに開催する同窓会を、宮嶋恒光・坂芳子先生をお迎えして開いた。総勢60名と名前の合わない戸惑い、でもいいですね、すぐに昔の友に帰る。これが3

年間学舎をともにした仲間。懇親会では話の華が開き、時の過ぎゆくままに！(引字弘一)

バスケットボールOB会



平成21年3月29日水野隆夫先生13回忌墓参り偲ぶ会を、恵那市毛呂窪の「鹿の湯」で開催した。

このOB会には、1回生〜9回生25名のOB・OGの皆様に参加してもらった。懇親会では、先生の思い出や創部当時の話など、楽しく有意義な一日だった。

なお、OB会では、恵那高の後輩に男子公認球及び女子公認球を各2個ずつを贈呈した。(引字弘一)